

宮の森に佇む家族ファーストの家

潇洒な家々が建ち並ぶ宮の森の二画に、株式会社スター・ウェッジの二級建築士 横田知朗氏が手がけた注文住宅が完成。

シンプルでありながら洗練された佇まいが印象的な住まいを訪ね、オーナーにお話をうかがいました。



ラスは暮らしのシーンをいっそう多彩に充実させてくれそうです。

3匹のための、 犬も人も快適なドッグスペース。

オーナー家族は、3匹の犬と暮らす愛犬家。ファミリーの1員である犬たちのために、階段下のスペースを利用してドッグスペースを設けました。そこは、単に場所を用意したというのではなく、アクリルのドアと窓に加え、換気扇も取り付け付けて気になる臭い対策も施した、いわば「愛犬の家」。

さらに、1階の床のほとんどを、犬の足を腰を痛めることがないように、滑りにくいタイル貼りにしました。

これにより、愛犬たちだけでなく、オーナー家族にとってもいちだんと快適な住まい空間となったそうです。



奥様とお子様への想いをかたちに。

キッチンやダイニングのそばに、小上がりの和室を設置。これは奥様が食事のしたくをしている間も、ここに寝かせた赤ちゃんの様子に目がとどくようにするため。小上がりにしてルーバー状の引き戸を取り付けたのは、室内飼いの愛犬がいることを配慮してのものです。

また、たくさんのお洋服やアクセサリーをお持ちの奥様専用のフイッティングルームや、お子様の成長を見越した子ども部屋プランなど、オーナーの理想がしっかりとかたちになっています。

あなたも、あなたにぴったりの家づくりを実現しませんか。それにはまず、しっかりと相談に応じてくれる建築士を探してみてもいいでしょうか。

クルミ材とグレイジュの 優しいコントラスト。

玄関に入るとまず目を引くのがエントランスホールとクロックを仕切るクルミ材の大きな壁とドア。穏やかな風合いの存在感が、訪れる人をあたたく迎えてくれます。クルミは、英語にするとウォールナット。家具や建具などの世界では、ウォールナットといえば北米産の黒みがかったブラックウォールナット材を指すのが一般的ですが、オーナーがこだわったのは深みある茶褐色の木目が美しいクルミ材。クルミで引き締まった印象のブラックウォールナット材に対して、このクルミ材は凛としたなかに漂う柔らかさと優しさが特徴です。この家ではエントランスホールのほかに、リビング、ダイニング、バスルームといったくろぎエリアに、このクルミ材を使った家具が巧みに配されています。

そのセンスを際立たせているのが、住まい全体をグレイジュトーンで統一し、広々とデザインされた居室空間です。グレイジュとは、年々注目度が高まっているグレイとヘーリュの中間色のこと。上品で落ち着いた雰囲気を出し、リラックスした気分を演

